

旧小川小跡地周辺地域再整備基本計画 (案)

令和4年3月

小美玉市

目 次

第1章 はじめに

1-1	再整備基本計画策定の背景・目的	1
1-2	再整備基本計画策定にあたっての基本的な考え方	1
1-3	再整備基本計画策定の検討体制	2

第2章 計画地の現状，対象施設の現状と課題

2-1	計画地の現状	3
①	概要情報	3
2-2	計画地及び周辺施設の状況	4
①	概要情報	4
②	配置状況	5
③	建物情報一覧表	6
④	計画地の施設の利用状況・運営状況・コスト状況	8
2-3	検討委員会の意見	12
2-4	問題点・課題の整理	13
2-5	再整備の方向性	15

第3章 基本方針

第4章 再整備事業（案）

第5章 事業計画に向けて

5-1	管理運営	20
5-2	概算事業費	20
5-3	整備スケジュール	20

(参考)		21
------	--	----

第1章 はじめに

1-1 再整備基本計画策定の背景・目的

旧小川小跡地周辺地域とは、旧小川小学校、旧小川幼稚園、旧防衛協会茨城出張所、小川公民館、小川図書館・資料館、第6分団消防機庫（大町）の周辺を指します。

（全体敷地面積は、約32,000㎡）

本市では、保有する公共施設等の全体の状況を把握し、財産負担の軽減・平準化と、公共施設等の最適な配置を図るために取りまとめた「小美玉市公共施設等総合管理計画（平成28年3月）」をもとに、再度、公共施設の現状と課題を把握・分析し、将来を見据えた改善方を検討しながら、財政と連動した「小美玉市公共施設等総合管理計画改訂版」（以下「総合管理計画改訂版」）を令和3年3月に策定しました。

また、「総合管理計画改訂版」でとりまとめた基本的な考え方や施設類型別の改善の方向性を踏まえ、建築物の長寿命化や修繕・更新時期の分散、財政負担の平準化を考慮した公共施設の今後40年間の方向性を定めた「小美玉市公共施設建築物系個別施設計画」（以下「個別施設計画」）を策定しました。

この計画に基づき、市全体で取組を進めていく一方、旧小川小跡地周辺地域を最初のモデルケースとして位置づけ、再整備について検討してきました。

「個別施設計画」では、旧小川小学校校舎・旧小川幼稚園・旧防衛協会茨城出張所・小川公民館・第6分団消防機庫（大町）が解体予定となっています。

各施設の解体年度は10年以内としか定まっておりませんが、この地域は、跡地利用が未定な旧小川小学校校舎をはじめ、解体対象施設が点在する地域であり、なるべく早い段階で再整備の事業化を実施していく必要があります。

また、再整備を実施するうえで既存活用を行う小川図書館・資料館周辺の土地利用の活性化を考慮しつつ、各施設解体後の周辺跡地の有効活用を図るため、施設・土地の一体的な再整備を実施します。

再整備基本計画策定は、再整備に関する基本的な考え方や整備内容など、旧小川小跡地周辺地域にふさわしい施設整備の在り方を示すことを目的とします。

1-2 再整備基本計画策定にあたっての基本的な考え方

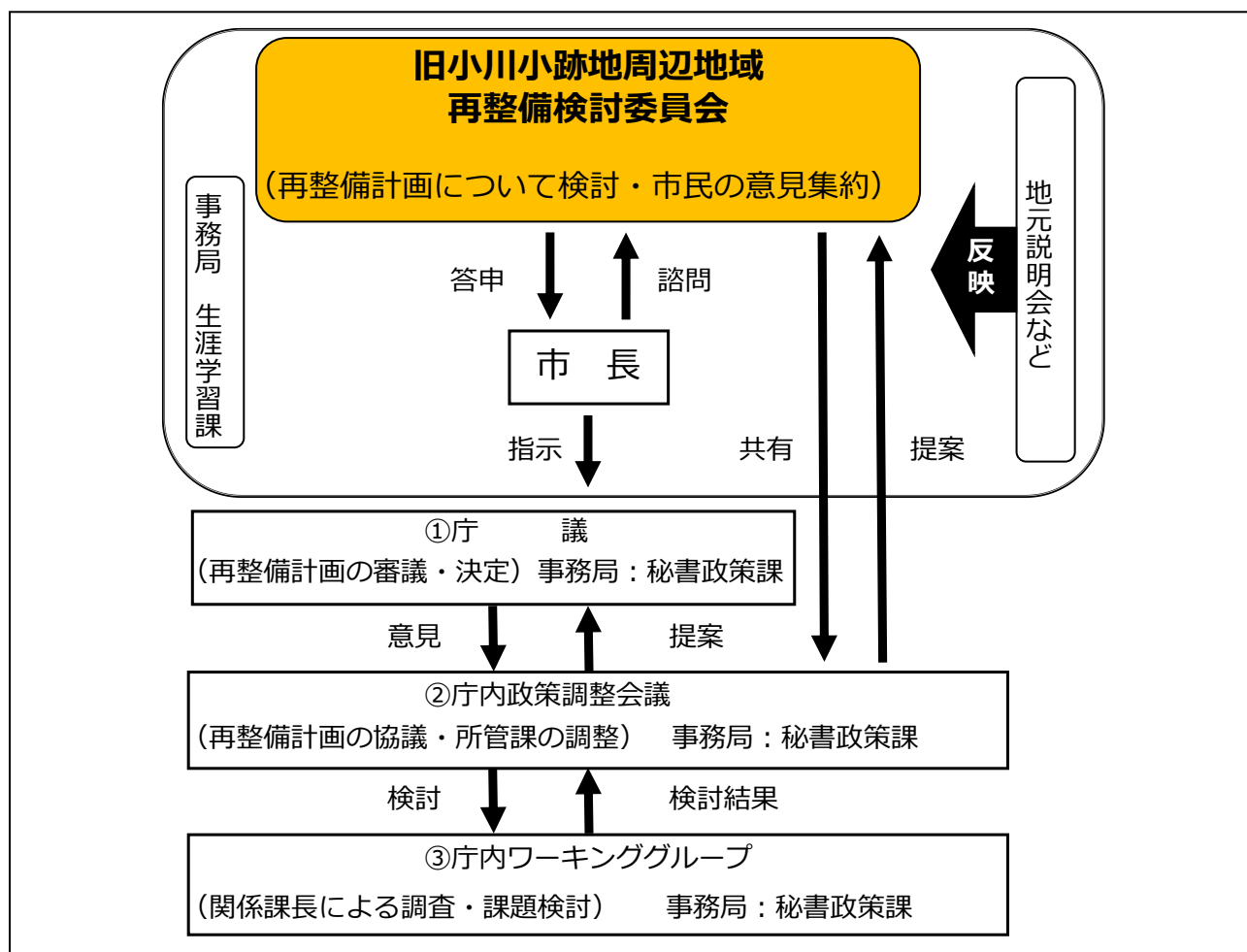
- ① 旧小川小跡地周辺地域再整備の推進に係る指針となる計画として策定します。
（周辺整備による地域活性化）
- ② 「総合管理計画改訂版」及び「個別施設計画」で示した理念や考え方に基づき、計画策定にあたるものとします。
- ③ 計画策定の過程を周辺住民に周知しながら進めます。
（回覧や市のホームページ等で周知を実施）

1-3 再整備基本計画策定の検討体制

旧小川小跡地周辺地域の再整備を図るため、令和3年6月「旧小川小跡地周辺地域再整備検討委員会設置条例」を施行し、市長の諮問を受けた再整備検討委員会は、市民の意見集約を行いながら、基本計画について検討してきました。

また、周辺地域再整備には、調査・協議事項が多く、担当課だけでは対応できないため、関連する他部署と連携を図り情報共有を行いながら、全庁的な取り組みとして推進します。

【図表 1-1 検討体制】



旧小川小跡地周辺地域再整備検討委員会

- 学識経験者 : 常磐大学総合政策学部准教授 (委員長), 元小学校長 (副委員長)
- 市議会代表 : 議長, 副議長, 広報特別委員会副委員長
- 地域代表 : 小川小学校区区長会長, おがわ地区コミュニティ会長
- 関係団体代表 : 社会教育委員兼公民館運営審議会, 図書館協議会, 文化協会小川支部,
文化財保護審議会史料館協議会, やすらぎの里小川運営委員会,
小川南小学校PTA, 読み聞かせサークル小川
- 一般市民 : 前市シティプロモーション推進懇談会委員

第2章 計画地の現状，対象施設の現状と課題

2-1 計画地の現状

計画地の現状について整理します。

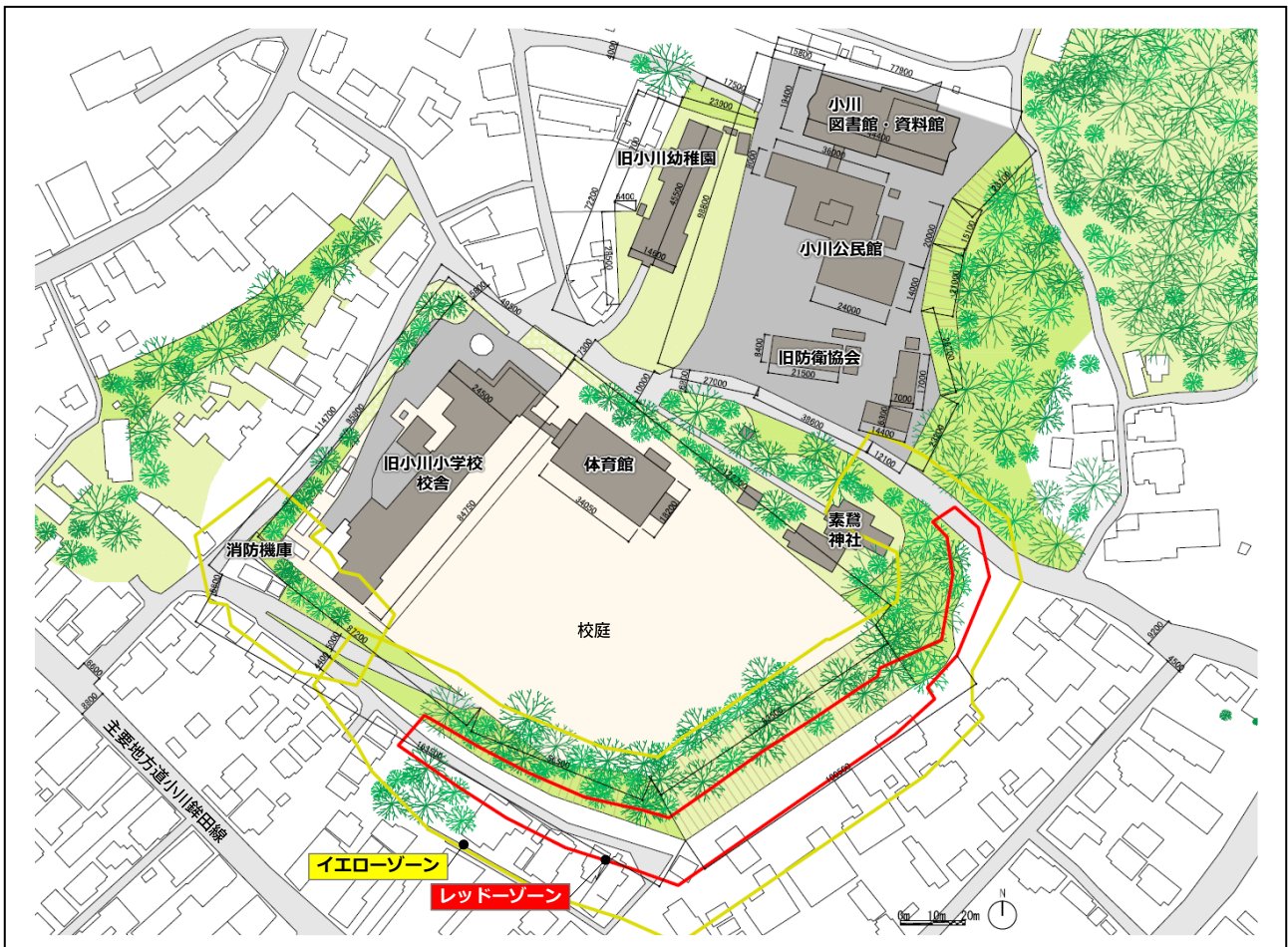
敷地面積の合計は約3.2万㎡で、旧小川小学校体育館，小川公民館，小川図書館・資料館，第6分団消防機庫（大町）の建物が現在使用中です。

旧小川小学校校舎・運動場の一部及び第6分団消防機庫（大町）の敷地が土砂災害防止法に規定される土砂災害警戒区域（イエローゾーン）と土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）に該当しています。

① 概要情報

敷地面積		都市計画		用途別集計		
旧小川小学校	19,956㎡	都市計画区域	非線引き都市計画区域	用途区分	棟数	延床面積
旧小川幼稚園	3,072㎡	用途地域	第一種住居地域	使用建物	2	2,547㎡
旧防衛協会茨城出張所	697㎡	容積/建蔽率	200%/60%	廃止(校舎等)	3	4,133㎡
小川公民館	5,504㎡	日影規制	5h-3h/4m	体育館	1	733㎡
小川図書館・資料館	2,475㎡	防火・準防火	指定なし	倉庫等	2	130㎡
第6分団消防機庫(大町)	210㎡					
合計	31,914㎡			合計	8	7,543㎡

【図表 2-1 計画地の現状】



2-2 計画地及び周辺施設の状況

計画地及びその周辺の公共施設の状況について整理します。

計画地には 7 施設が立地しており、うち既に 3 施設が使用を中止し、4 施設が使用中です。建物はすべて築 30 年以上が経過しており、多くの建物で劣化が進行しています。

その他の周辺施設として、小川総合支所をはじめ6施設が立地しています。

① 概要情報

■旧小川小跡地周辺施設

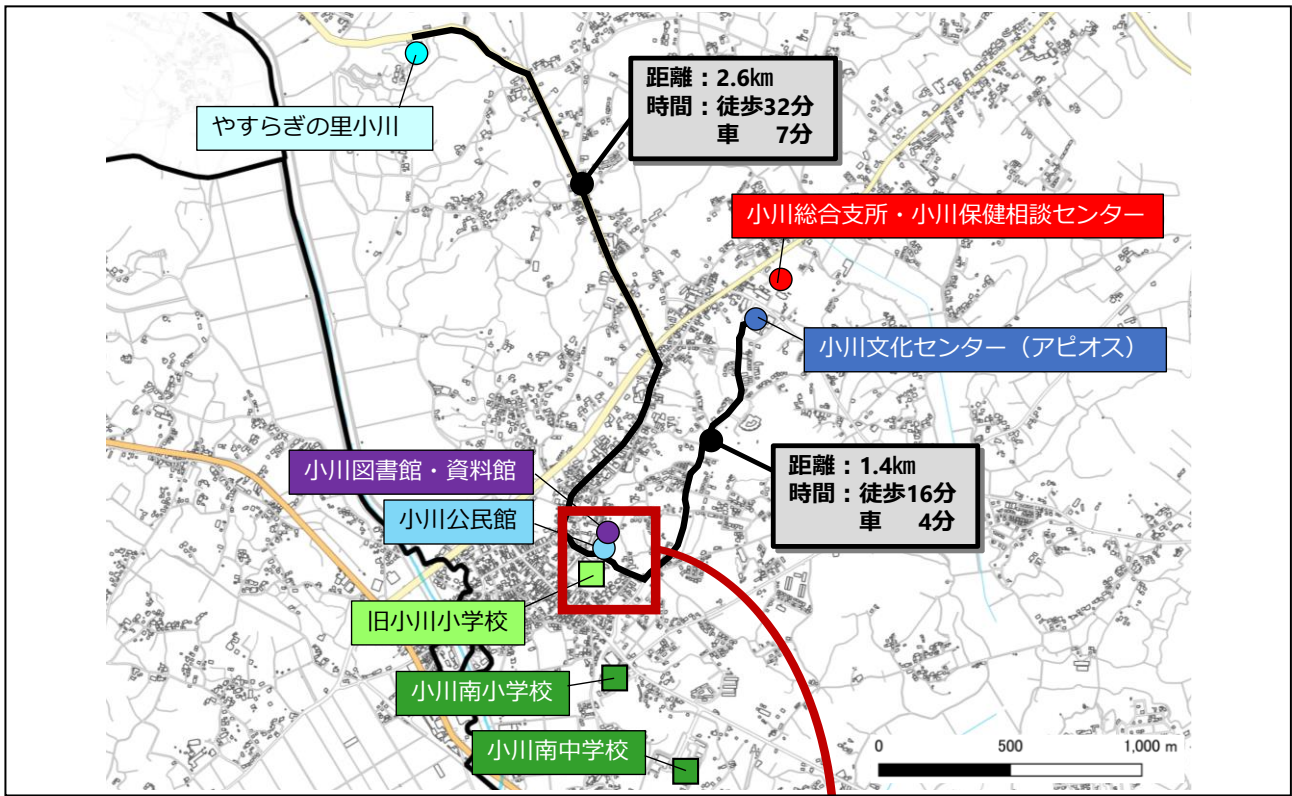
NO	名称	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	経過 年数	構造 (主たる建物)	耐震安全性			備考
						基準	診断	補強	
1	旧小川小学校(校舎)	3,475	昭和44	52	RC造	旧耐震	済	済	H31年3月閉校
2	旧小川小学校(体育館)	733	昭和47	49	S造	旧耐震	済	済	
3	旧小川幼稚園	514	昭和47	49	RC造	旧耐震	未		H21年3月閉園
4	旧防衛協会茨城出張所	144	昭和43	53	CB造	旧耐震	未		H24年度閉鎖
5	小川公民館	1,268	昭和47	49	RC造	旧耐震	未		
6	小川図書館・資料館	867	平成3	30	RC造	新耐震	-	-	
		490							
7	第6分団消防機庫(大町)	50	昭和61	35	S造	新耐震	-	-	

■その他の周辺施設

NO	名称	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	経過 年数	構造 (主たる建物)	耐震安全性			備考
						基準	診断	補強	
1	小川総合支所	2,868	昭和48	48	RC造	旧耐震	済	済	
2	小川保健相談センター	1,114	平成4	30	RC造	新耐震	-	-	
3	小川文化センター(アピオス)	4,716	昭和57	39	RC造	新耐震	-	-	
4	やすらぎの里小川	1,285	平成6	27	W造	新耐震	-	-	
	華道棟	173	平成6	27	W造	新耐震	-	-	
	文芸棟	176	平成6	27	W造	新耐震	-	-	
	管理研修棟	370	平成6	27	W造	新耐震	-	-	
	書画棟	127	平成6	27	W造	新耐震	-	-	
	茶道棟	168	平成6	27	W造	新耐震	-	-	
	展示廊	85	平成6	27	W造	新耐震	-	-	
	公衆便所	41	平成6	27	W造	新耐震	-	-	
	本間宅復元	144	平成7	26	W造	新耐震	-	-	
5	小川南小学校(体育館)	2,142	平成9	24	RC造	新耐震	-	-	
6	小川南中学校(体育館)	2,805	昭和60	36	RC造	新耐震	-	-	

② 配置状況

【図表 2-2 周辺図】



【図表 2-3 計画地】



③ 建物情報一覧表

【図表 2-4 建物情報一覧表 左】

基本情報											構造躯体の健全性			
施設名	棟名	学校施設台帳番号 (公共施設は固定資産台帳番号)	用途区分	複合施設	構造	地上階	延床面積 (㎡)	建築年度		築年数	耐震安全性			
								西暦	和暦		基準	診断	補強	IS値
対象施設	旧小川小学校	校舎-1	①-1, ①-2	校舎	RC	3	3,475	1969	S44	52	旧	済	済	0.87
		体育館	④-1, ④-2, ⑥	体育館	S	2	733	1972	S47	49	旧	済	済	0.93
	旧小川幼稚園	旧小川小教課後子どもプラン通級指導教室	④	学童施設	RC	1	514	1972	S47	49	旧	未	-	-
	防衛協会茨城出張所	防衛協会茨城出張所	22	行政系施設	CB	1	144	1969	S44	52	旧	未	-	-
	小川公民館	小川公民館	232	市民文化系施設	RC	2	1,189	1972	S47	49	旧	未	-	-
		物置	233	市民文化系施設	S	1	79	1989	H1	32	新	-	-	-
	小川図書館資料館	小川図書館	251	社会教育系施設	小川資料館	RC	2	1,358	1991	H3	30	新	-	-
第6分団機庫(大町)	第6分団機庫(大町)	341	消防施設		S	2	50	1986	S61	35	新	-	-	-
周辺施設	小川総合支所	支所	11	行政系施設	RC	3	2,597	1973	S48	48	旧	済	済	
		車庫1	12	行政系施設	S		150	1961	S36	60	旧			
		車庫2	13	行政系施設	S		28	1968	S43	53	旧			
		社協事務所	14	行政系施設	S	2	270	1989	H1	32	新	-	-	
		防災資機材地域備蓄倉庫	15	行政系施設	S		69	1992	H4	29	新	-	-	
	小川保健相談センター	小川保健相談センター	305	保健・福祉施設	RC	2	1,114	1991	H3	30	新	-	-	
	小川文化センター	小川文化センターアピオス	249	市民文化系施設	RC	3	4,690	1982	S57	39	旧	済	-	
	やすらぎの里小川	華道棟	234	市民文化系施設	W	1	173	1994	H6	27	新	-	-	
		文芸棟	235	市民文化系施設	W	1	176	1994	H6	27	新	-	-	
		管理研修棟	236	市民文化系施設	W	1	370	1994	H6	27	新	-	-	
		書画棟	237	市民文化系施設	W	1	127	1994	H6	27	新	-	-	
		茶道棟	238	市民文化系施設	W	1	168	1994	H6	27	新	-	-	
		展示廊	239	市民文化系施設	W	1	85	1994	H6	27	新	-	-	
		公衆便所	240	市民文化系施設	W	1	41	1994	H6	27	新	-	-	
本間宅復元		241	市民文化系施設	W	1	144	1995	H7	26	新	-	-		
小川南小学校	体育館	①	体育館	RC	2	2,142	1997	H9	24	新	-	-	-	
小川南中学校	体育館	⑯-1, ⑯-2, ⑯-3	体育館	RC	2	2,805	1985	S60	36	新	-	-	-	

耐震診断未実施

※ 2021 年度データ更新

凡例 築年数 構造
 : 1971年以前 RC: 鉄筋コンクリート造
 : 1981年以前 SRC: 鉄骨鉄筋コンクリート造
 S: 軽量鉄骨造
 CB: コンクリートブロック造
 W: 木造
 他: その他(不明含む)

④ 計画地の施設の利用状況・運営状況・コスト状況

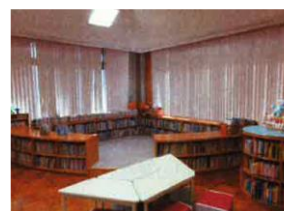
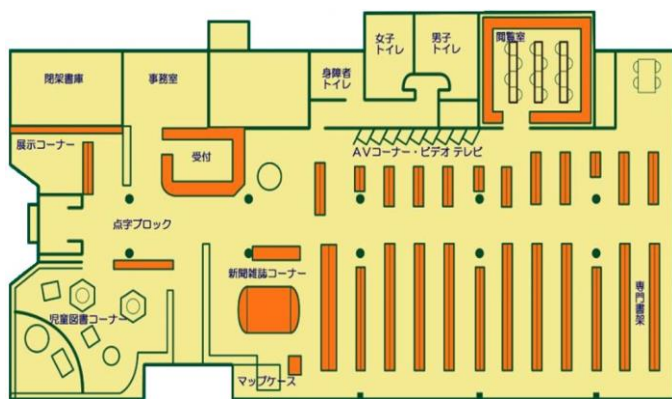
小川図書館は、直近4年間の貸出者数は約1.7万～2.0万人、貸出冊数は約8.2万冊～9.0万冊です。2020(R2)年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で貸出者数・貸出冊数ともに例年より少なくなっています。

小川図書館の2018年度年間トータルコストは約5,837万円、貸出者1人当たりコストは2,963円となっています。

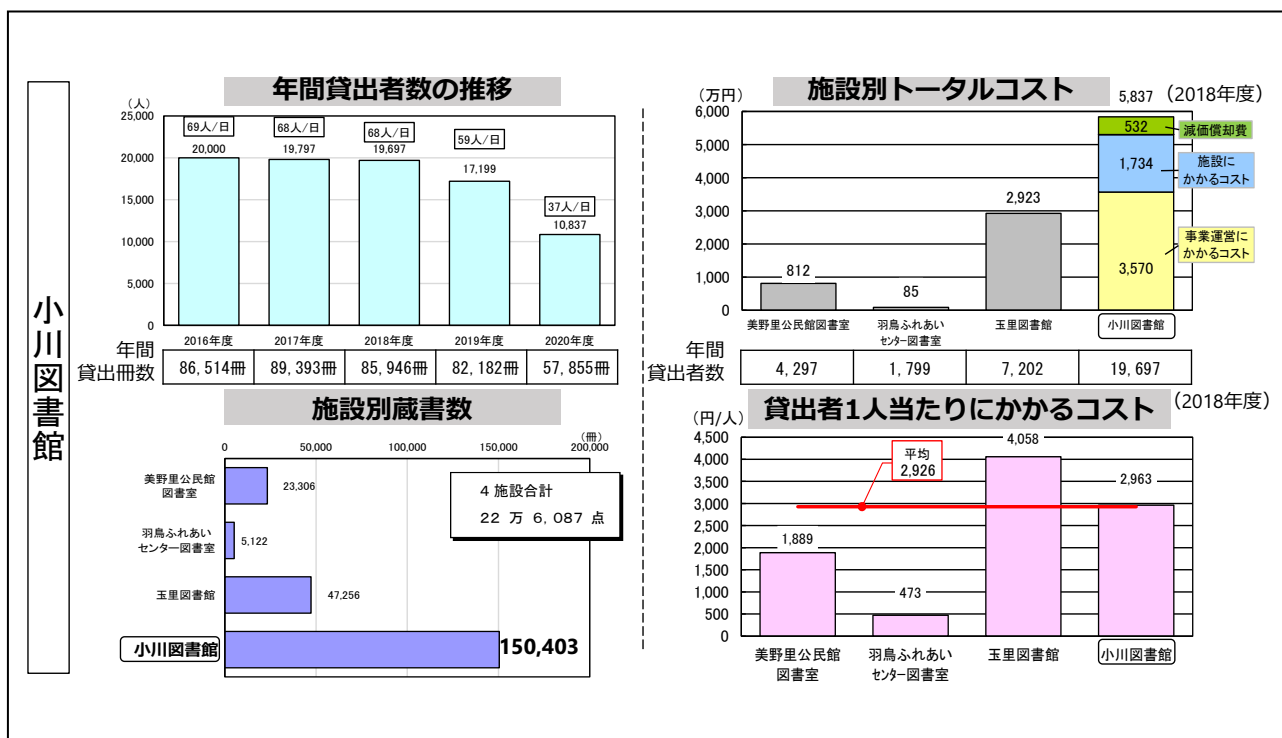
■小川図書館

開館時間	休館日	事業内容
午前9時30分～午後8時まで（祝日は午前9時30分～午後5時まで）	月曜日、月末整理日、年末年始	<ul style="list-style-type: none"> 図書資料の収集整備 図書館奉仕活動と利用促進等図書館法第3条に掲げる事業

1階



【図表 2-6 利用状況，コスト状況（小川図書館）】



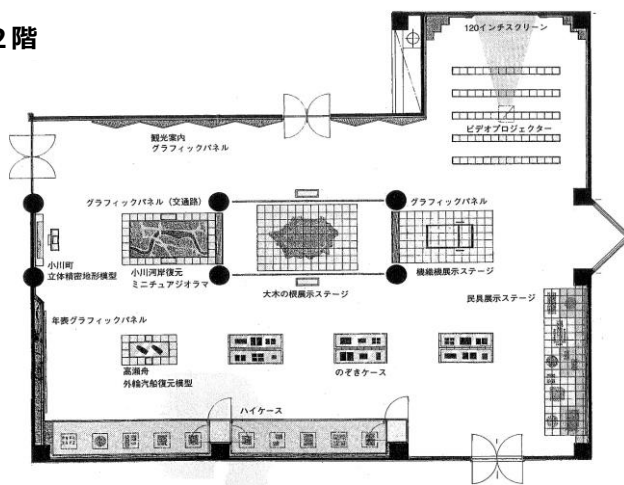
コストデータ：「小美玉市公共施設等総合管理計画」より

小川資料館は、直近4年間の利用者数は522人～772人、2020(R2)年度は286人です。
 小川資料館の2018年度年間トータルコストは約1,280万円、利用者1人当たりコストは24,523円となっています。

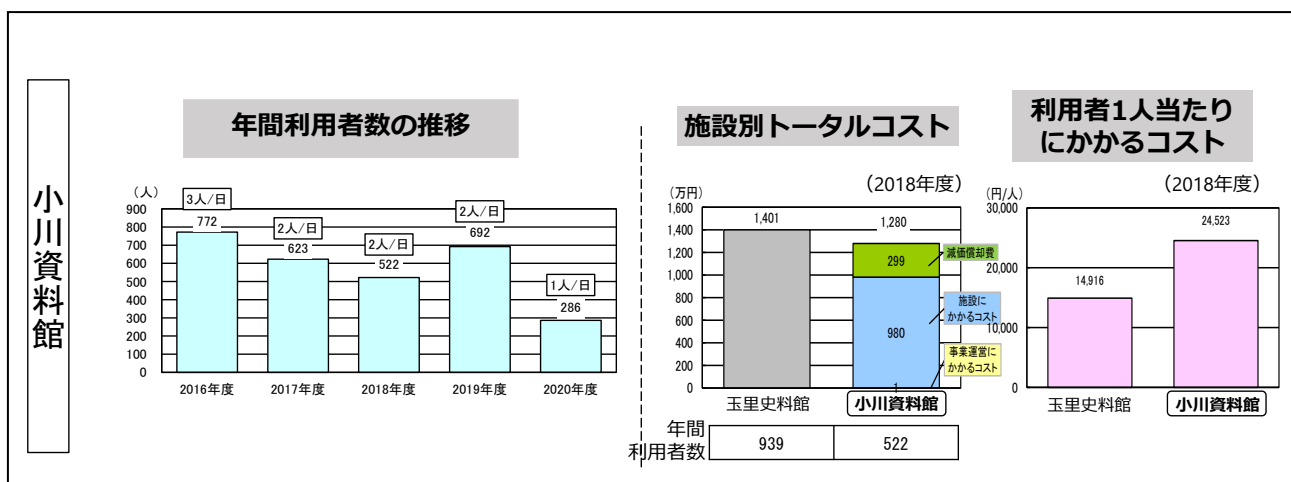
■小川資料館

開館時間	休館日	事業内容
午前9時30分～午後6時まで (祝日は午後5時まで)	月曜日, 資料整理日, 年末年始	資料の収集, 保管及び展示・調査 研究

2階



【図表 2-7 利用状況, コスト状況 (小川資料館)】



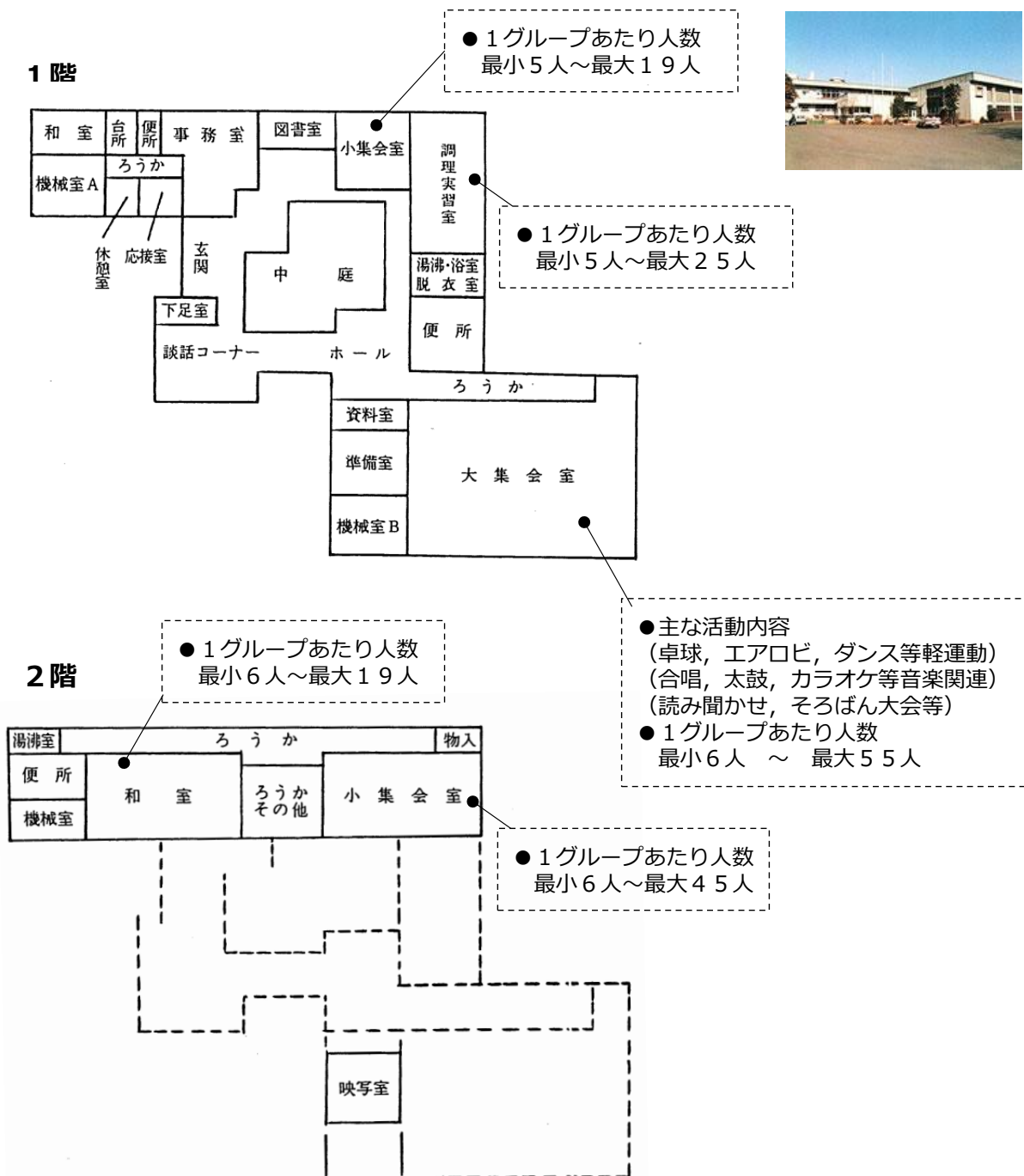
コストデータ：「小美玉市公共施設等総合管理計画」より

小川公民館は、直近4年間の利用者数は約1.7万~1.9万人、利用件数は1,572件~1,620件です。2020(R2)年度は、利用者数6,978人、利用件数877件と、新型コロナウイルス感染症の影響で利用者数・利用件数ともに例年より少なくなっています。

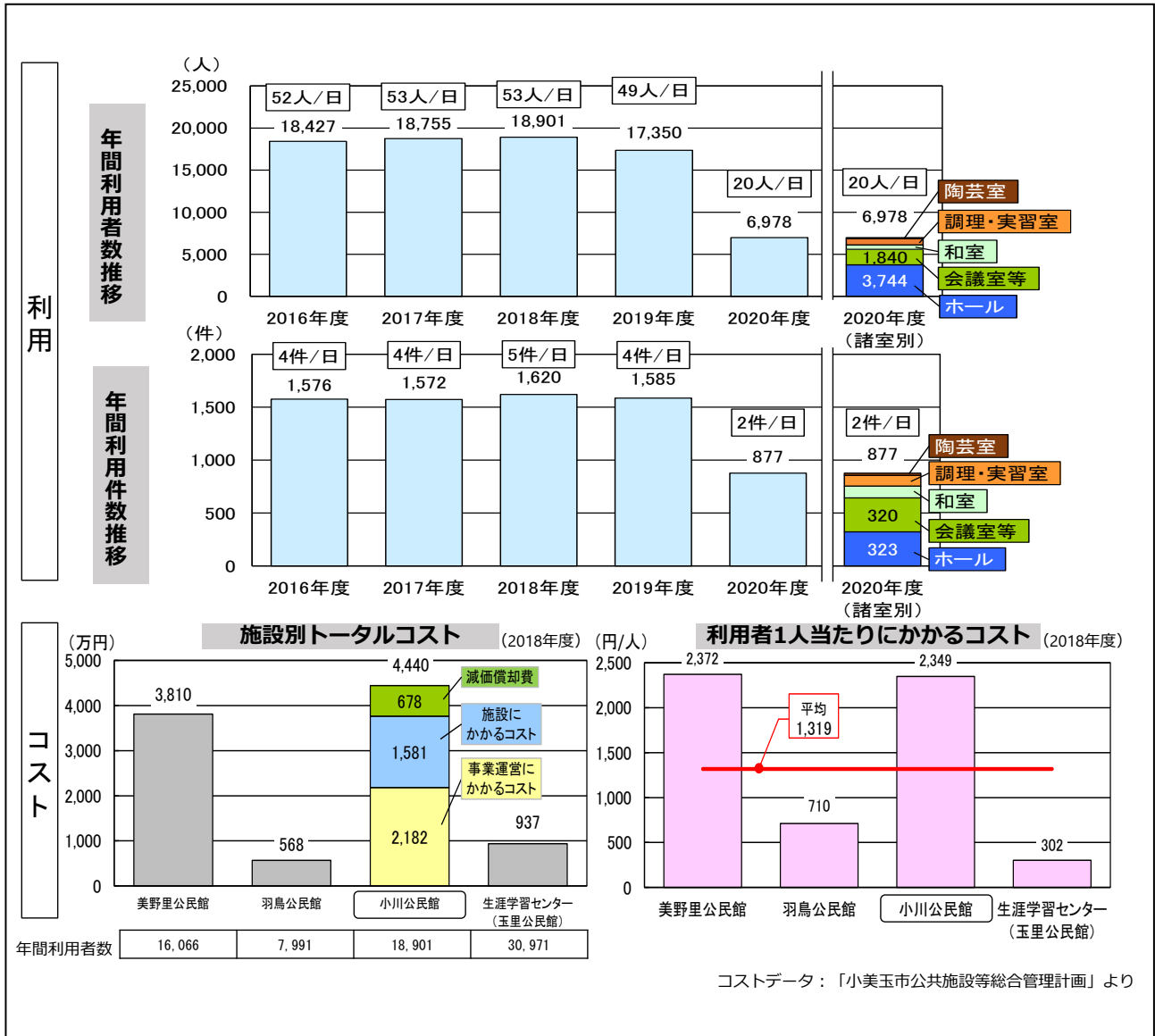
2018年度年間トータルコストは約4,440万円、利用者1人当たりコストは2,349円となっています。

■小川公民館

開館時間	休館日	事業内容
午前9時~午後10時まで	年末年始	<ul style="list-style-type: none"> 各種サークル活動（パソコン教室、着付け教室、手芸、コース、健康教室、民舞など）



【図表 2-8 利用状況, コスト状況 (小川公民館)】



2-3 検討委員会の意見

●小川地区の地域交流の場所、生涯学習の機能整備が必要

- 小川公民館解体後、公民館機能を他施設に移転・分散すると言っても、公民館利用者は高齢化しており、夜だけでなく昼間でも車を運転するのが危ない状況なため、身近な地域に生涯学習の場があった方がよい。
- 公民館機能を図書館・資料館と一体と考えて、生涯学習の充実を図ってはどうか。
- 必要最低限でも地域の方々が集まり議論できる場所が必要ではないか。

●防災機能・避難場所の確保、公園の整備

- 旧小川小学校と小川公民館は指定避難所になっている。災害の拠点、避難所となるようなそういった施設が必要ではないか。
- 公民館機能を残しながら、それが避難所も兼ねるようなものが必要ではないか。
- 広い校庭も活用して、防災拠点としてはどうか。
- 急傾斜地解消に伴い、校庭の面積が狭くなるので、体育館を解体して、校庭の有効面積を確保した中で公園整備をした方がよい。
- 旧小川小跡地の校庭側に、遊具や健康器具の整備をしてほしい。

●図書館・資料館の充実が必要

- 現状の小川図書館・資料館の場所は、道路から見えにくい、わかりづらい。
- 小美玉市には3地域にそれぞれ図書館があるが、小川図書館が一番充実している。今後も、充実させて有効活用していく必要があるのではないか。
- 図書館は、遠方から来る人もゆっくりできるような場所が望ましい。また、読書しながら飲食ができるスペースがあってもよいのではないか。
- 今のままの図書館・資料館が残っても駐車場は少ないので、駐車場は広く確保した方がよいのではないか。
- 図書館を中心に、いろいろな人が集える、また、つながるような（インターネット環境の充実）施設づくりができればいいのではないか。

●歴史と文化・教養のある場所の特性を活かす

- もとは小川城などがあった場所で、古くから歴史伝統がある由緒ある場所なので、歴史が消えないように、世代から世代へつなぐものとして小川地区の文化の拠点になるとよいのではないか。

2-4 問題点・課題の整理

計画地に関する問題点・課題について建物や基盤整備、災害対応等の各観点から整理すると、以下の通りとなります。

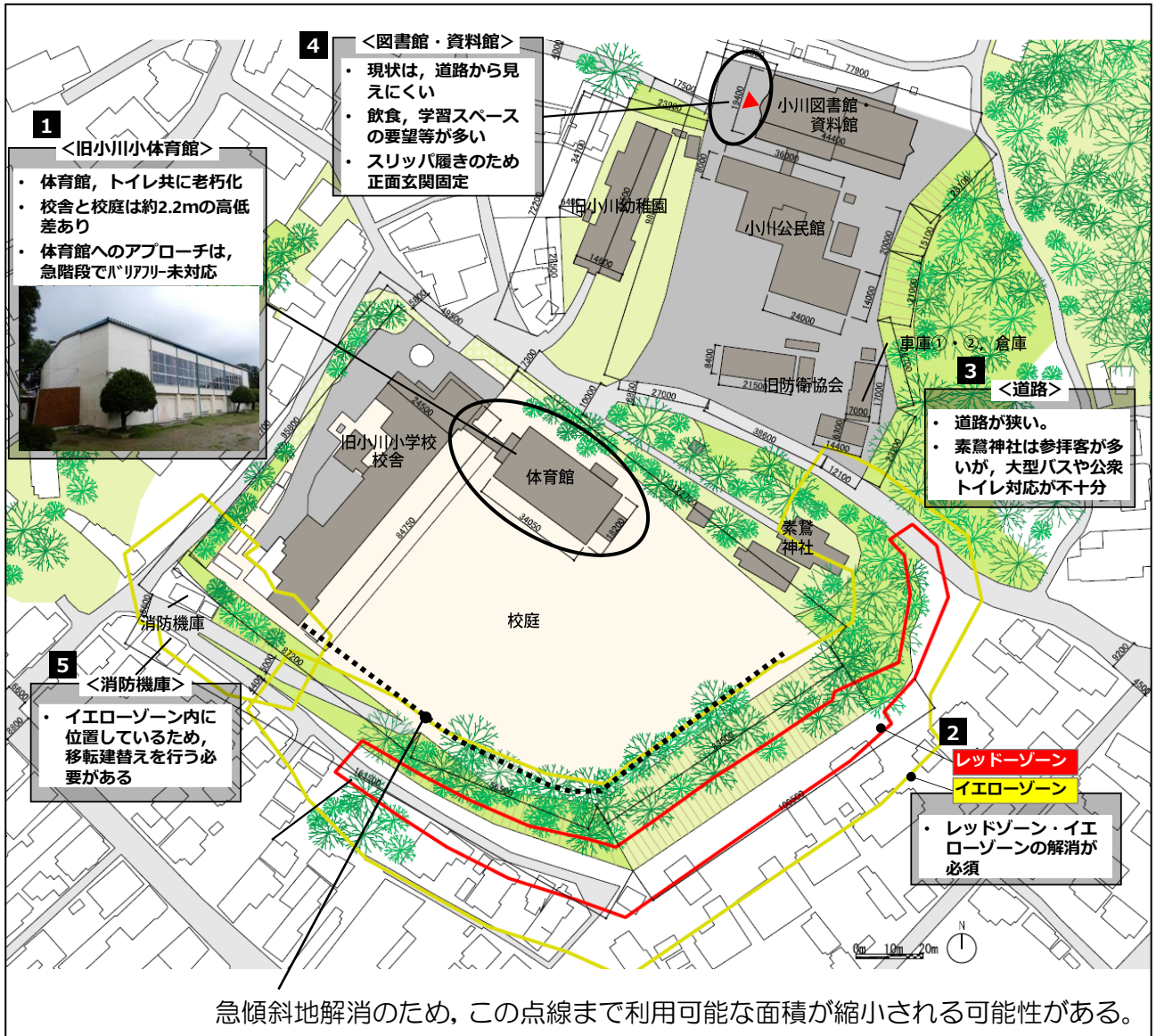
<主な問題点・課題>

		(観点)
旧小川 小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育館，屋外トイレともに老朽化している。 	建物
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校舎と校庭は約2.2mの高低差があり，体育館へのアプローチは，急階段のため，バリアフリー対応が必要 	基盤整備
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 敷地の一部が，急傾斜地（レッドゾーン，イエローゾーン※1）に指定されており，再整備の際には解消する必要がある。 ・ 急傾斜地解消に伴い，校庭の有効面積が狭くなる。 	災害対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 旧小川小学校と公民館は指定避難所になっている。災害の拠点，避難所となるような施設が必要ではないか。 	災害対応
小川 公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域交流の拠点，生涯学習の拠点は地域の身近な場所にあるべきではないか。 	建物
図書館・ 資料館	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現状は，道路から見えにくい。 	基盤整備
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車場が少ない。 	基盤整備
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 飲食，学習スペースの要望等が多い。 ・ インターネット環境の充実 	建物
周辺道路	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路が狭い。 	基盤整備
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 素鷲神社は参拝客が多いが，大型バスや公衆トイレ対応が不十分 	基盤整備
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消防機庫がイエローゾーン内に位置しているため，再整備事業にあわせて，移転建替えを行う必要がある。 	その他

※1 レッドゾーン：土砂災害防止法に規定される土砂災害特別警戒区域

イエローゾーン：土砂災害防止法に規定される土砂災害警戒区域

【図表 2-9 計画地の現状と課題】



2-5 再整備の方向性

問題点や課題から抽出される再整備の方向性について、以下の通り整理しました。

<再整備の考え方>

- ◎ 再整備により、地域住民の交流及び多世代交流の促進が図られることで、市民の笑顔あふれるにぎわいのある場所
- ◎ 小川の歴史や文化を学び、後世に伝える場所（レガシー※2）
- ◎ 素鷲神社などの地域資源を生かし相乗効果を図りながら、まちづくりや観光に寄与する場所

<整備に向けた基本方針>

歴史と文化の特性を活かした地域交流の場

- ◎ メリハリある整備によって、新たな価値や魅力を創出する場所
- ◎ 学びの場となる生涯学習機能を兼ね備えた場所（人があつまる・まなぶ・つながる）
- ◎ 滞在スペースの確保により、人や情報に出会える場所

既存施設、既存敷地の有効活用により新たな価値を創出する場

- ◎ 災害時は、避難場所として活用できる防災機能を備えた場所
- ◎ バリアフリーやユニバーサルデザイン※3を考慮した人にやさしく快適に利用できる場所
- ◎ 急傾斜地解消の促進により、一層の安全安心が図られる場所

安全・安心で人にやさしい快適な場

※2 世代から世代へ受け継ぐものごと

※3 年齢や性別、障がいのあるなしに関わらず、誰にとっても快適な環境を作ろうという考え方

第3章 基本方針

再整備の方向性から、検討委員会の意見も踏まえ、整備に向けた基本方針と基本コンセプトを、以下のとおり決めました。

① 歴史と文化の特性を活かした地域交流の場

- ◎ 小川城跡が所在するこの地に残る小川稽医館の碑、素鷲神社、小川資料館展示品等のレガシーをつなげることにより、小川の歴史や文化を学ぶことができる場所を目指します。
- ◎ 市民の憩いの空間を創出することにより、笑顔あふれるにぎわいのある地域交流の場所を目指します。

② 既存施設、既存敷地の有効活用により新たな価値を創出する場

- ◎ 旧小川小学校校庭を有効活用し、4つのひろば（ふれあい・多目的・健康・ピクニック）で構成する公園をつくり、市民の憩いの場所を目指します。
- ◎ 小川図書館・資料館と（仮称）生涯学習交流施設が連携を図り、人があつまるとまなぶ・つながる（ネットワークの充実）ことができる場所を目指します。
- ◎ 屋外のオープンスペース等の有効活用により、滞在場所を確保することで、新たな価値を創出する場所を目指します。

③ 安全・安心で人にやさしい快適な場

- ◎ 災害に備え避難場所として活用できる場所を目指します。
- ◎ バリアフリー、ユニバーサルデザイン対応により、誰もが利用しやすい快適な場所を目指します。
- ◎ 急傾斜地解消の促進により、より一層の安全安心な場所を目指します。

3つの基本的な方針を勘案し、再整備の基本コンセプトを下記とします。

基本コンセプト

『歴史と文化の香る にぎわいのある地域交流の場の創出』

第4章 再整備事業（案）

◆全体配置案



- ・ 校庭は交流ゾーンと位置づけ遊具・健康器具を配置するなど公園として整備し、散策等を通して交流できる空間を計画。また、災害に備えた防災ベンチ(非常時にはかまどとして使用)を設置する計画。
- ・ 記念碑付近を歴史ゾーンとし、サインを設け小川の歴史を学ぶことができる空間を計画。
- ・ 体育館は校庭の有効面積を確保するため除却し、校庭を有効活用する。
- ・ 公民館跡地に（仮称）生涯学習交流施設（約 400 m²）を整備し、会合・学習・サークル活動等で活用できる空間を計画。
- ・ 図書館・資料館前は、デッキと芝生の屋外テラスを整備し、（仮称）生涯学習交流施設と一体的に活用する。
- ・ 旧幼稚園跡地に第1駐車場、校舎跡地に第2駐車場、防衛協会跡地に第3駐車場を整備。
- ・ アクセス道路の整備。

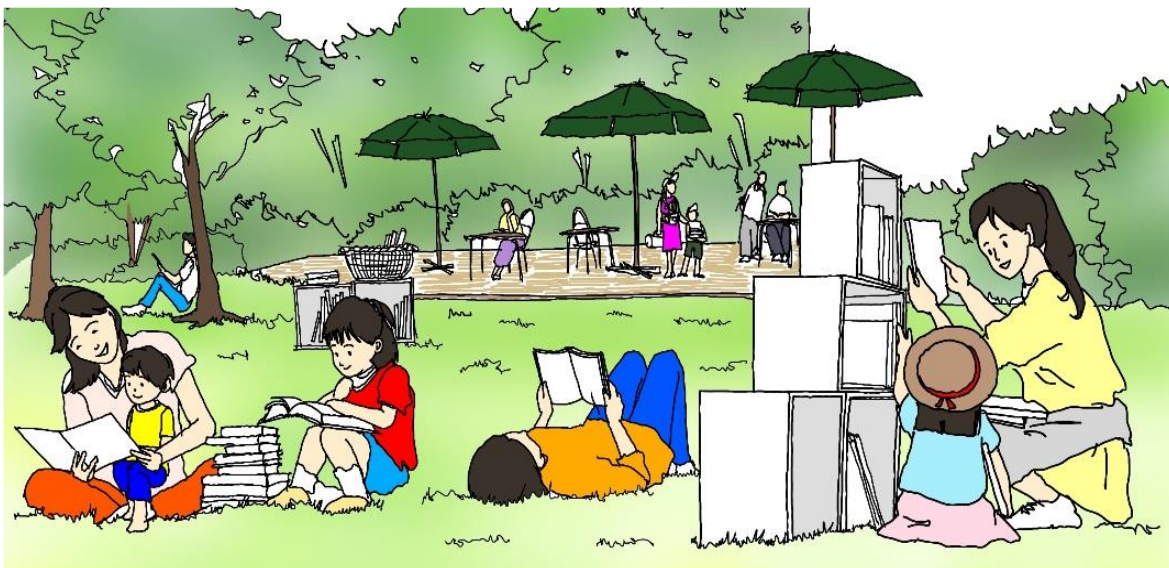
注1：外灯・ベンチは位置が分かりやすいよう実物より大きく表現しています。

注2：本プラン案は、主な機能を具体的に配置するためのイメージでこの案を確定するものではありません。

また建築基準法、消防法等関係法令等に準じて変わることがあります。

◆ 公民館跡地は芝生広場とデッキテラスの広がる、憩いの空間へ

- ・ 老朽化した公民館撤去後の跡地はデッキと芝生の屋外テラスとし、一体的な交流空間を計画。
- ・ 芝生の屋外広場とデッキテラスでは、借りた本を読んだり、天気の良い日には『青空図書館』を開催するなど子どもから大人まで過ごせる憩いの場に。また、芝生でヨガ、音楽会、芝生で読み聞かせ会など、地域の文化交流の場所としての活用も期待できる。（交流の場の創出は、地域や利用者の皆さんが企画・運営することで生まれる）



◆ 校庭は散策路やピクニック広場等を整備する公園へ

- ・ 校庭の外周に緑豊かな散策コースやピクニック広場を整備して、くつろぎの場を演出。
- ・ 芝生が広がる公園内にはさまざまなインクルーシブ遊具※4や健康器具を配置し、多世代が活動できる空間を計画。



※4 体に障がいがある子ども、ない子ども一緒になって遊ぶことができる遊具

◆ 地域の人々がゆったり過ごすことができる、平屋の交流スペース

- ・（仮称）生涯学習交流施設は、大きな屋根に覆われた平屋建てとし、屋外テラスに対して開かれた施設として計画。
- ・施設は間仕切りで広さが調整できる会議室と自由に休憩できるラウンジ、小会議室等を整備する。
- ・間仕切りを取り外せば広く一体利用できる会議室は、講座やさまざまなサークルの活動や集会のスペースとして活用。小さく仕切れば、ちょっとした会合をはじめ、子どもたちの学習スペース等に利用できる。
- ・テラスにも休憩スペースを用意し、ランチや休憩等に活用できる。
- ・Wi-Fi環境を整備し、読書や学習に利用できるスペースを計画。
- ・（仮称）生涯学習交流施設の整備とあわせて、図書館・資料館の正面玄関をテラスに面した位置に改修する。

（仮称）生涯学習交流施設イメージ図



第5章 事業計画に向けて

5-1 管理運営

再整備事業（案）の実施に向けて、複数の施設、所管が関係することから、直営・指定管理者・民間など施設・土地の一体的な活用のために、より適した管理運営について今後検討を進めていきます。

5-2 概算事業費

本事業費の概算費用は、近年の資材費や人件費の高騰を踏まえ、直近の類似事例の㎡単価等を参考に概算事業費を算出すると、約8億5千万円となります。

※ 事業費は設計作業前の概算額であり、今後の基本設計・実施設計の段階で具体的に事業費を算出します。

5-3 整備スケジュール

本事業の実現に向けた整備スケジュールは、再整備基本計画の再整備（案）を具現化していくため、財源確保や測量調査等の各種調査・調整を行うとともに、適宜、解体・造成（急傾斜地解消含む）・建築工事など実施し、10年以内に供用開始する予定で整備を進めていきます。

(参考)

旧小川小跡地周辺地域再整備検討委員会名簿 (敬称略)

No.	範囲	氏名	備考
1	学識経験者	◎佐々木 一如	常磐大学総合政策学部准教授
2	//	○藤田 恵弘	元小学校長
3	議会	笹目 雄一	市議会議長 ※第2回迄
4	//	石井 旭	市議会副議長
5	//	香取 憲一	市議会広報特別委員会副委員長
6	地区代表	伊能 善久	小川小学校区区長会長
7	//	小島 健一	おがわ地区コミュニティ会長
8	団体代表	大平 勇次	社会教育委員兼公民館運営審議会議長
9	//	真家 悦子	図書館協議会代表
10	//	海老澤 稔	文化財保護審議会・史料館協議会長
11	//	井能 忠雄	文化協会小川支部長
12	//	谷仲 和雄	やすらぎの里小川運営委員会委員長
13	//	内山 隆	小川南小学校PTA会長
14	//	田村 智子	読み聞かせサークル小川代表
15	一般市民	田村 美穂子	前市庁イ°ロト-ソソ推進懇談会委員

◎委員長 ○副委員長

任期：委嘱の日から答申まで

旧小川小跡地周辺地域再整備基本計画策定の経過

年月日	会議	内容
令和3年4月28日	第1回庁内政策調整会議	<ul style="list-style-type: none"> 旧小川小跡地周辺地域の現状確認
令和3年5月12日	第1回庁内ワーキンググループ	<ul style="list-style-type: none"> 再整備基本計画の整理検討 各課題について整理
令和3年6月25日	第2回庁内政策調整会議	<ul style="list-style-type: none"> 再整備検討委員会について検討 各課題について検討
令和3年7月21日	第3回庁内政策調整会議	<ul style="list-style-type: none"> 再整備検討委員会内容及び各課題について検討 進捗状況確認
令和3年8月24日	第4回庁内政策調整会議	<ul style="list-style-type: none"> 第1回再整備検討委員会協議内容の検討 進捗状況確認
令和3年8月26日	第1回旧小川小跡地周辺地域再整備検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> 基本計画策定業務の概要と必要性について 計画地の概要と課題について 意見交換
令和3年10月14日	第5回庁内政策調整会議	<ul style="list-style-type: none"> 第2回再整備検討委員会協議内容の検討 進捗状況確認
令和3年10月26日	第2回旧小川小跡地周辺地域再整備検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> 計画地の概要について 再整備の方向性（案）について
令和3年12月16日	第6回庁内政策調整会議	<ul style="list-style-type: none"> 第3回再整備検討委員会協議内容の検討 進捗状況確認
令和3年12月22日	第3回旧小川小跡地周辺地域再整備検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> 再整備の方向性（基本方針案）について 再整備事業（案）について
令和4年1月22日	住民説明会	<ul style="list-style-type: none"> 再整備基本計画策定について 意見交換
令和4年1月31日	第7回庁内政策調整会議	<ul style="list-style-type: none"> 第4回再整備検討委員会協議内容の検討 進捗状況確認 今後のスケジュール確認
令和4年2月9日	第4回旧小川小跡地周辺地域再整備検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> 再整備基本計画（案）について 今後のスケジュールについて
令和4年3月	議会全員協議会	<ul style="list-style-type: none"> 再整備基本計画（案）説明
令和4年3月	答申	<ul style="list-style-type: none"> 委員長から市長へ答申

「個別施設計画」では、「総合管理計画改訂版」でとりまとめた基本方針及び施設類型ごとの改善の方向性に基づき、今後の40年間の方向性を定めています。その中で、旧小川小跡地周辺地域の公共施設は、下記のとおりです。

施設名	年次計画				備考
	2021～ 2030	2031～ 2040	2041～ 2050	2051～ 2060	
旧小川小学校校舎	解体				
旧小川小学校体育館		長寿命化		建替え	
旧小川幼稚園	解体				
旧防衛協会茨城出張所	解体				
小川公民館	解体				やすらぎの里小川へ機能集約
小川図書館・資料館		長寿命化		中規模修繕	
第6分団消防機庫（大町）	解体				集約・建替え

小川公民館解体後の代替使用施設について

- 利用者対応については、やすらぎの里小川各和室・研修室、小川文化センターアピオス各ホール・会議室、小川保健相談センター栄養指導室、（仮称）生涯学習交流施設等での対応を考えています。避難所については、小川文化センターアピオス、小川南中学校、小川南小学校での対応を考えていますが、集団での避難生活が難しい要配慮者用の避難所として（仮称）生涯学習交流施設を使用することも考えています。

旧小川小学校体育館の取り扱いについて

- 「個別施設計画」では、旧小川小学校体育館は、2031年から2040年の間に長寿命化を図り、地域住民・スポーツ団体等に開放、災害時には避難所として活用することになっていました。しかし、検討委員会等の協議の結果、下記の理由から旧小川小体育館は除却することになりました。
 - ① 築49年が経過し外壁等の老朽化が進行しており、また、体育館へのアプローチは急階段のためバリアフリー対応が必要なことから、施設を維持するためには多くの費用が見込まれる。
 - ② 安全対策のため急傾斜地の解消を行うことから、広場として活用する上で校庭の利用面積が現状より狭くなる。
 - ③ 体育館が担う災害時の避難所としての役割を、（仮称）生涯学習交流施設の設置により確保する。（要調整）

旧小川小学校体育館代替使用施設について

- 旧小川小学校体育館解体後の機能移転に伴い、代替使用施設として下記の施設の対応を想定しています。
 - ① 避難所については、小川文化センターアピオス、小川南中学校、小川南小学校での対応を考えていますが、集団での避難生活が難しい要配慮者用の避難所として（仮称）生涯学習交流施設を使用することも考えています。
 - ② 地域住民・スポーツ団体等の体育館開放施設については、小川南中学校・小川南小学校・小川運動公園・旧橋小学校の各体育館並びに、軽度な運動については（仮称）生涯学習交流施設での対応を考えています。

※今後、計画の進捗状況等により変更が生じる場合がございます。